

宇門布物統

梅の花笠
一名春日詣

今板本十四の巻

古本四の巻



田近氏藏書

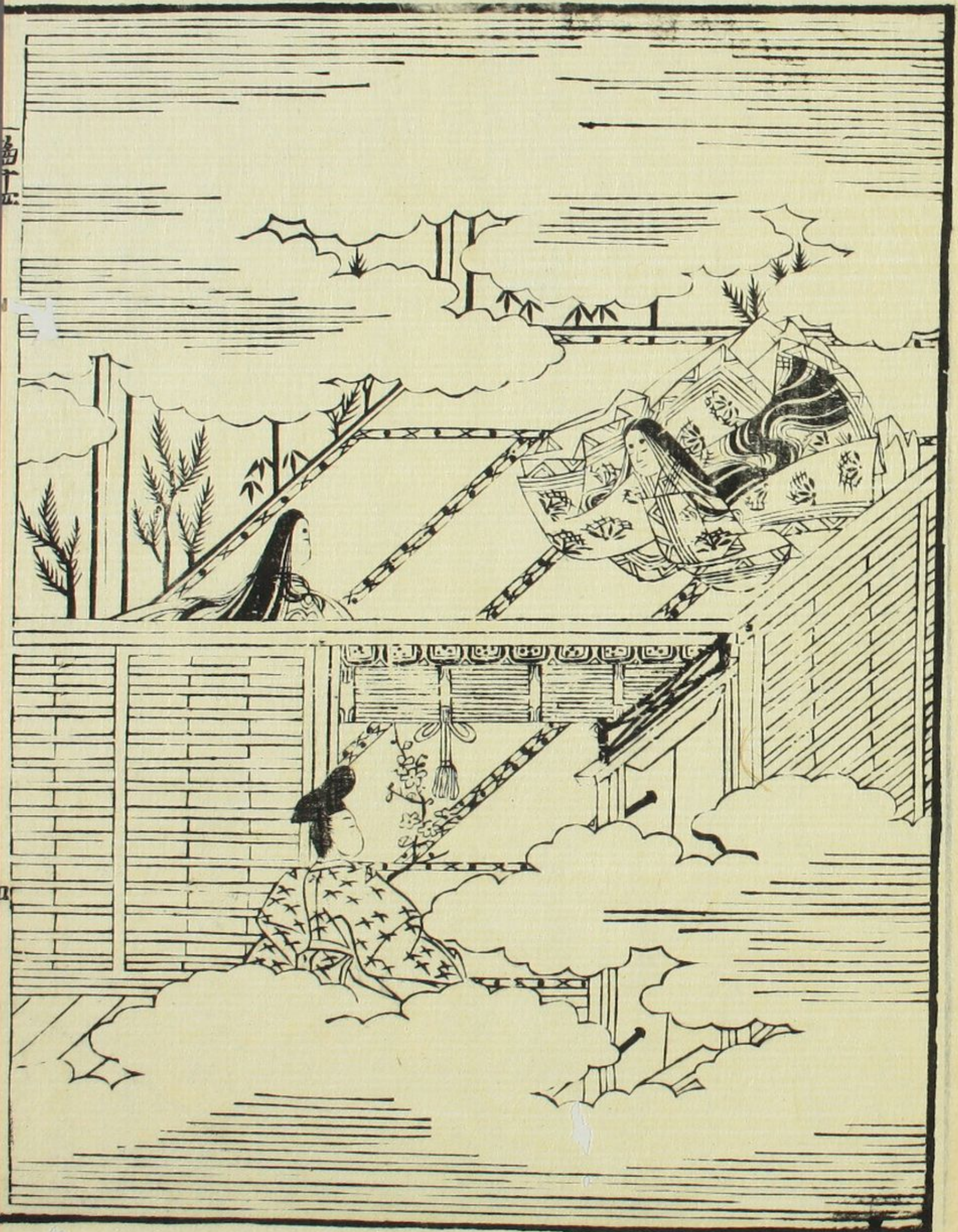


わが故郷より一月ほど経てはそれ頃のみなともやうお
^{いふ}流しにうらみありてはしきり世中ありては
^{いふ}くらやにてありてはしきり世中ありては
^{いふ}流しにうらみありてはしきり世中ありては
^{いふ}くらやにてありてはしきり世中ありては
^{いふ}流しにうらみありてはしきり世中ありては
^{いふ}くらやにてありてはしきり世中ありては
^{いふ}流しにうらみありてはしきり世中ありては
^{いふ}くらやにてありてはしきり世中ありては
^{いふ}流しにうらみありてはしきり世中ありては
^{いふ}くらやにてありてはしきり世中ありては
^{いふ}流しにうらみありてはしきり世中ありては
^{いふ}くらやにてありてはしきり世中ありては
^{いふ}流しにうらみありてはしきり世中ありては
^{いふ}くらやにてありてはしきり世中ありては
^{いふ}流しにうらみありてはしきり世中ありては
^{いふ}くらやにてありてはしきり世中ありては



一六五の世にあらはれりて終てまじりて
まては終終くつりてあくまらひらひらして
くはより終中へんしりしむるは終ひん
時つらひらひらして終の世にあらはれ
まらん世のまらひらひらして終ひん
よの世のあらはれりてあくまらひらひら
ひらひらして終あまらひらひらして
の世にあらはれりてあくまらひらひら
ひらひらして終あまらひらひらして
あくまらひらひらして終あまらひらひら
あくまらひらひらして終あまらひらひら

終ひらひらしてあくまらひらひらして
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら
あくまらひらひらしてあくまらひらひら



梅五
はらら梅の春のあけよと梅の春のあけよ
つらきわをてまのまのあけよと梅の春のあけよ
さくら梅の春のあけよと梅の春のあけよ
つらきわをてまのまのあけよと梅の春のあけよ
さくら梅の春のあけよと梅の春のあけよ
つらきわをてまのまのあけよと梅の春のあけよ
さくら梅の春のあけよと梅の春のあけよ
つらきわをてまのまのあけよと梅の春のあけよ
さくら梅の春のあけよと梅の春のあけよ
つらきわをてまのまのあけよと梅の春のあけよ
さくら梅の春のあけよと梅の春のあけよ

やせしむるらん。いふ事もあつゝのさかひのさかひの
めあつてはたか^{たか}中將^{ちゆうしやう}あつゝのさかひのさかひの
わらあ

ねらりゆらんちやうとあつゝのさかひのさかひの
のわらとあつゝのさかひのさかひのさかひのさかひの
とあつゝのさかひの

花さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
のさかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
て

花をさかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
はさかひのさかひのさかひのさかひのさかひの

花をさかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
のさかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
人へさかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの

さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの

さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの
さかひのさかひのさかひのさかひのさかひの

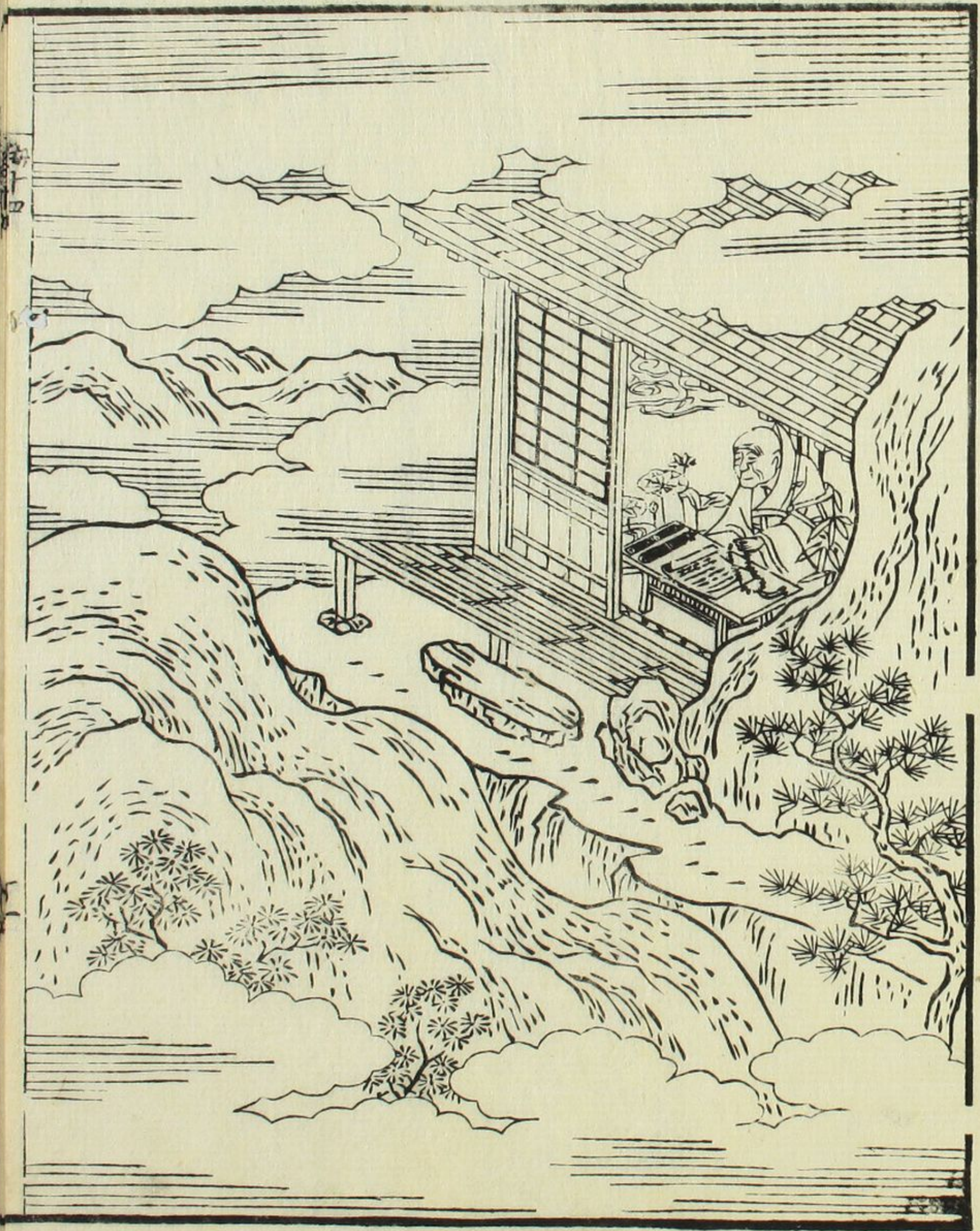
Handwritten text in Arabic script, top line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, second line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, third line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the right page.

Large block of handwritten text in Arabic script, filling most of the left page.



おちしやまの法華のしんぎんをうたふまはる
あしなみなるけりくわんをうたふまはる
てふ十末らふやめりてうたふまはる
あしなみなるけりくわんをうたふまはる
あしなみなるけりくわんをうたふまはる
あしなみなるけりくわんをうたふまはる

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise, written in a cursive style. The text is contained within a rectangular border.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise, written in a cursive style. The text is contained within a rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, spanning the right page of the open book. The text is written in a dark ink on aged paper and is contained within a rectangular border.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, spanning the left page of the open book. The text is written in a dark ink on aged paper and is contained within a rectangular border.

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

あはれなる御心御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども

あはれなる御心御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども
御座り候へども御座り候へども

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter. The script is highly stylized and characteristic of early modern European handwriting.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It consists of approximately 12 lines of text, starting with a large initial letter. The script is highly stylized and characteristic of early modern European handwriting. There are some small annotations or corrections in the text, such as "Handwritten" written in a smaller hand.

ふらふら

春のふらふらとて
 花のふらふらとて
 鳥のふらふらとて
 虫のふらふらとて
 雲のふらふらとて
 水のふらふらとて
 山のふらふらとて
 川のふらふらとて
 海のふらふらとて
 空のふらふらとて
 地のふらふらとて
 人のふらふらとて
 物のふらふらとて
 事のふらふらとて
 法のふらふらとて
 徳のふらふらとて
 道徳のふらふらとて
 仁徳のふらふらとて
 義徳のふらふらとて
 礼徳のふらふらとて
 智徳のふらふらとて
 信徳のふらふらとて
 忠徳のふらふらとて
 孝徳のふらふらとて
 悌徳のふらふらとて
 友徳のふらふらとて
 節徳のふらふらとて
 廉徳のふらふらとて
 恥徳のふらふらとて
 勇徳のふらふらとて
 剛徳のふらふらとて
 直徳のふらふらとて
 毅徳のふらふらとて
 堅徳のふらふらとて
 強徳のふらふらとて
 猛徳のふらふらとて
 鋭徳のふらふらとて
 敏徳のふらふらとて
 達徳のふらふらとて
 勇徳のふらふらとて
 剛徳のふらふらとて
 直徳のふらふらとて
 毅徳のふらふらとて
 堅徳のふらふらとて
 強徳のふらふらとて
 猛徳のふらふらとて
 鋭徳のふらふらとて
 敏徳のふらふらとて
 達徳のふらふらとて
 勇徳のふらふらとて
 剛徳のふらふらとて
 直徳のふらふらとて
 毅徳のふらふらとて
 堅徳のふらふらとて
 強徳のふらふらとて
 猛徳のふらふらとて
 鋭徳のふらふらとて
 敏徳のふらふらとて
 達徳のふらふらとて

春のふらふら

花のふらふら

鳥のふらふら
 虫のふらふら
 雲のふらふら
 水のふらふら
 山のふらふら
 川のふらふら
 海のふらふら
 空のふらふら
 地のふらふら
 人のふらふら
 物のふらふら
 事のふらふら
 法のふらふら
 徳のふらふら
 道徳のふらふら
 仁徳のふらふら
 義徳のふらふら
 礼徳のふらふら
 智徳のふらふら
 信徳のふらふら
 忠徳のふらふら
 孝徳のふらふら
 悌徳のふらふら
 友徳のふらふら
 節徳のふらふら
 廉徳のふらふら
 恥徳のふらふら
 勇徳のふらふら
 剛徳のふらふら
 直徳のふらふら
 毅徳のふらふら
 堅徳のふらふら
 強徳のふらふら
 猛徳のふらふら
 鋭徳のふらふら
 敏徳のふらふら
 達徳のふらふら

勇徳のふらふら
 剛徳のふらふら
 直徳のふらふら
 毅徳のふらふら
 堅徳のふらふら
 強徳のふらふら
 猛徳のふらふら
 鋭徳のふらふら
 敏徳のふらふら
 達徳のふらふら
 勇徳のふらふら
 剛徳のふらふら
 直徳のふらふら
 毅徳のふらふら
 堅徳のふらふら
 強徳のふらふら
 猛徳のふらふら
 鋭徳のふらふら
 敏徳のふらふら
 達徳のふらふら
 勇徳のふらふら
 剛徳のふらふら
 直徳のふらふら
 毅徳のふらふら
 堅徳のふらふら
 強徳のふらふら
 猛徳のふらふら
 鋭徳のふらふら
 敏徳のふらふら
 達徳のふらふら

春のふらふら

花のふらふら

十二
十五

Handwritten cursive script in Japanese, consisting of 15 lines of text.

Handwritten cursive script in Japanese, consisting of 15 lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style. The page number '十' (10) is visible in the top right corner.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style. The page number '十' (10) is visible in the top right corner.

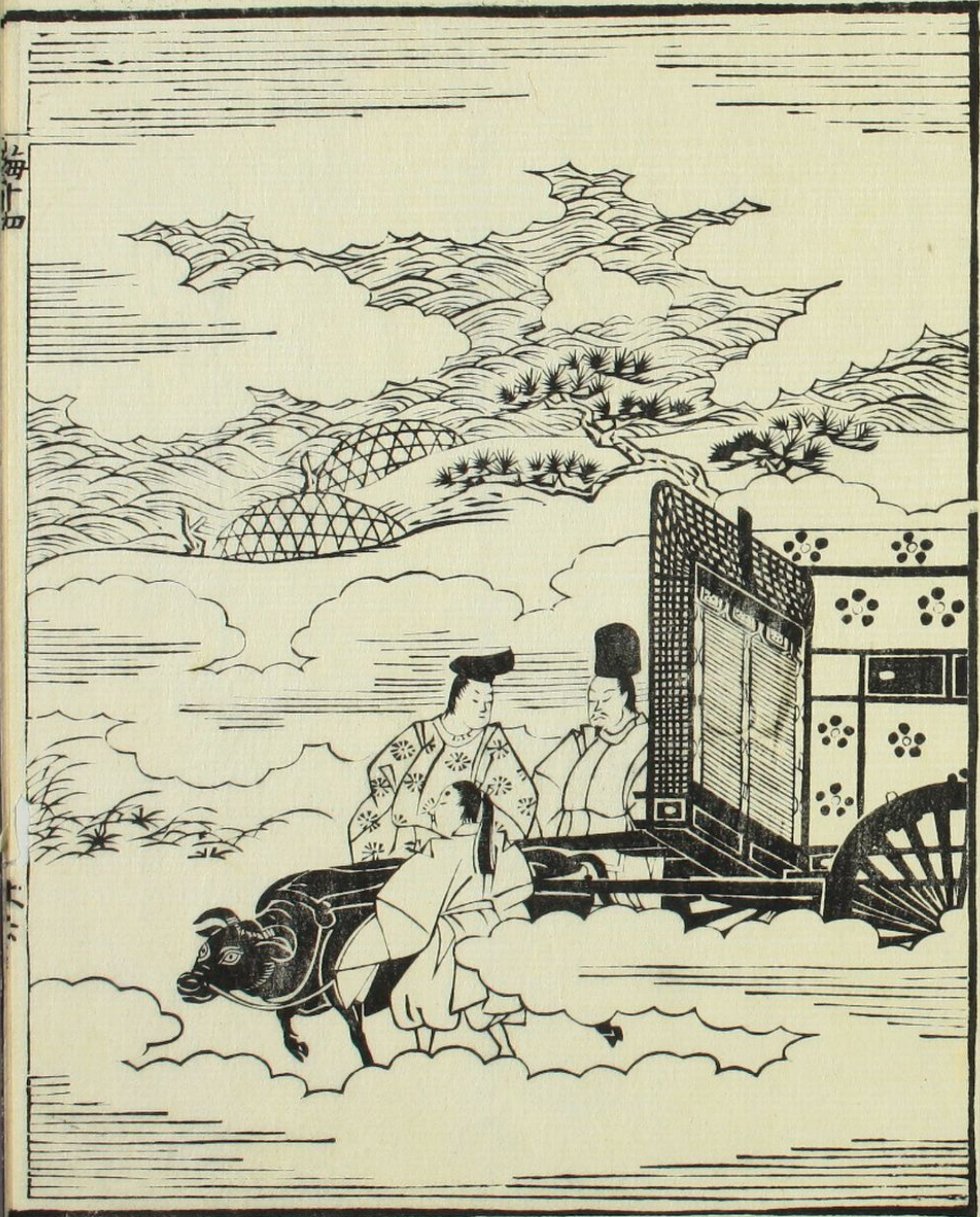
まやうらーらあまのこゝろのほろほろとつらさ
 りの神のまにまにまをさるゝあまのこゝろ
 ー

あまのこゝろのほろほろとつらさ
 りの神のまにまにまをさるゝあまのこゝろ
 ー

まやうらーらあまのこゝろのほろほろとつらさ
 りの神のまにまにまをさるゝあまのこゝろ
 ー

とやうなへんをたてしむる御心算の御心算
おのゝけりからあつた御心算の御心算
あゝ御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算

ていしを御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算
御心算の御心算の御心算の御心算



一月のくちとまほしきまゝのついでに
 かのりさのきりぎりすのうたを
 くらゐりておぼえりておぼえりて
 おぼえりておぼえりておぼえりて
 おぼえりておぼえりておぼえりて
 おぼえりておぼえりておぼえりて
 おぼえりておぼえりておぼえりて

しるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに

しるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに
^おしるしをいれしむるのよしをいふに

